

授業科目	心理学概論 I				単位	2		
履 修	選択	関連資格	社会福祉士 精神保健福祉士		ナンバリング	WE11401J		
開講年次	1年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP3-1			
担当教員	杉本 有紗							
授業概要	将来、福祉領域の専門職を目指す学生にとって、心理学からの知見は総合的な人間理解の基盤を確立する上で極めて重要である。心理学は、心のメカニズムを究明する学問である。本科目では、見えない心をどのように研究し、その知見をどのように人間理解に応用するかに焦点を当て、科学としての心理学について解説する。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人生の各時期の発達特徴について発達心理学の理論や研究に基づいて説明できる。【DP1-1. 1-2】 2. パーソナリティとは何か、特性論、類型論、精神力動的理論、人間学的理論、学習理論などのパーソナリティ理論について説明できる。【DP1-1. 1-2】 3. 観察法、面接法、心理検査法など、心理査定の概要について説明できる。【DP1-1. 1-2】 4. 精神疾患・障害とその定義、特徴について説明できる。【DP1-1. 1-2】 5. 心理学的アプローチに基づく治療・援助の方法などの臨床心理学の各理論について説明できる。【DP1-1. 1-2】 6. ストレスとストレス対処についての各理論について説明できる。【DP1-1. 1-2】 7. 自己、対人関係や社会的認知、個人と集団について社会心理学の理論や研究に基づいて説明できる。【DP1-1. 1-2】 8. 理論を自らの体験や身近な出来事と結びつけて学びを深めることができる。【DP3-1】 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	70	0	30	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	30						30	
知識・理解 (DP1-2)	40						40	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			30				30	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
日常生活場面における様々な問題を考える時に、発達心理学・人格心理学・臨床心理学・社会心理学の知識を活かすことができる。心理学の実験や文献の内容について理解し、他の人に正確に伝えることができる。				発達心理学・人格心理学・臨床心理学・社会心理学の基本的な知識、及び心理学の実験や文献の内容について人に説明することができる。				

授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:心理学とは 心理学とはどのような学問なのか解説する。	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	30
2	テーマ:発達心理学1 周産期、幼児期、児童期、青年期の発達特徴とそれにかかわる理論について解説する。	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	30
3	テーマ:発達心理学2(杉本 有紗) 青年期、成人期、老年期の発達特徴とそれにかかわる理論について解説する。	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	30
4	テーマ:パーソナリティ1 パーソナリティ、特性論、類型論について解説する。	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	30
5	テーマ: パーソナリティ2 精神力動的理論、人間学的理論、学習理論について解説する。	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	30
6	テーマ: パーソナリティの測定 面接法、観察法、心理検査法について解説する。	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	30
7	テーマ:知能 知能と知能検査、発達検査について解説する。	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	30
8	テーマ: 精神疾患・障害 精神疾患・障害について解説する。	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	30
9	テーマ: 心理療法1 精神力動的アプローチ、人間性中心アプローチについて解説する。	講義 実習(簡単な心理学の実習を行う) 小レポート	復習:該当部分の復習	30
10	テーマ: 心理療法2 認知・行動療法アプローチ、家族アプローチ、その他の心理療法について解説する。	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	30
11	テーマ: ストレス ストレスとストレス対処について解説する。	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	30
12	テーマ: 社会心理学1 社会的世界と自己、社会的認知について解説する。	講義 実習(簡単な心理学の実習を行う) 小レポート	復習:該当部分の復習	30
13	テーマ:社会心理学2 社会的影響力と社会的関係について解説する。	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	30
14	テーマ:社会心理学3 個人と集団について解説する。	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	30
15	テーマ:まとめ 心理学概論1で解説した内容を振り返る。	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	30
16				
17				
18				
19				

20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	<p>日常の身近な出来事と関連が深い学問領域である。自己や他者、それらを取り巻く環境に関心を持っていると紹介する概念や理論を理解しやすいと思われる。</p>			
テキスト	<p>『心理学概論第2版』 岡市廣成・鈴木直人監修 ナカニシヤ出版</p>			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>『ジンバルドー 現代心理学 1』P.G ジンバルドー著 古畑和孝/平井久監訳 サイエンス社 『ジンバルドー 現代心理学 2』P.G ジンバルドー著 古畑和孝/平井久監訳 サイエンス社 『心理学 第5版』鹿取廣人・杉本敏夫編 東京大学出版会 『心理学』無藤隆・森敏明・遠藤由美・玉瀬耕治著 有斐閣 『心理学概論』山内弘継・橋本宰監修 岡市廣成・鈴木直人編 青山謙二郎編集補佐 ナカニシヤ出版</p>			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>各自、心理学・発達心理学・人格心理学・臨床心理学・社会心理学関連の文献を読み、学習することが望ましい。</p>			
達成度評価に関するコメント	<p>小レポートは、行動目標8が達成されているかを確認するものである。 試験は、試験内容は、行動目標1～7が達成されているかを確認するものとする。心理学概論 I にて学ぶ内容は、DP1-1および1-2のどちらにも通ずるものであるため、DPの達成については総合して評価する。</p>			